

第8回 新市民体育センター整備基本計画 および金亀公園再整備基本計画検討委員会

平成28年11月25日(金)に第8回新市民体育センター整備基本計画および金亀公園再整備基本計画検討委員会を開催しました。



会議の様子
(委員12名中9名出席)

議事

1 金亀公園再整備基本計画について

- ・これまでの議論の内容をまとめ、再整備のスケジュールや概算費用等を盛り込んだ「金亀公園再整備基本計画(素案)」(案)を作成し、その概要を説明。
- ・内容について、追加すべきものや修正すべきもの等について議論しました。

委員からの主な意見

整備スケジュールの根拠は？分かり易いように工夫を。

一度にすべての施設を解体するのではなく、各施設について解体、整備を順序立てて実施する。工程表はわかりやすくなるよう工夫する。

野球場は荒神山公園を中心に運用することになるが、照明施設はそれまでに整備するのか？

野球場の解体までの整備をめざし、進めていきたい。

テニスコートを移設し、修景広場に再整備するなど玄宮園周辺の景観は大きく変わる。また、黒門付近で船着き場を復元することなど歴史遺産の活用によって公園のイメージが変わる。これらをアピールする計画にしてみてもどうか？玄宮園周辺の石垣の見せ方も大事である。

船着き場の復元や玄宮園付近の眺望など、景観については想像しやすいように絵を作成し、計画に差し込む。

植栽について、彦根城から再整備区域、さらに国体主会場へと連続性を持つように樹種を選定する等の計画が必要。

国体主会場を含め公園全体で10kmのランニングコースのイメージを作成しては？

コース設定について計画に盛り込む。

公園へのアプローチ道路についても整備を検討すべき。

整備の必要性を認識している。関係部局と協議を行う。

テニスコートの移設時に、現状にあるような運営室を整備されたい。

トイレの配置はバランスよく考慮してもらいたい。

再整備により、歴史的文化財とスポーツ施設が併設した資産価値のある公園となる。スポーツと文化の結びつきや、新たなレガシー（遺産）を造ることについて、計画性を持たせると面白い計画となる。

滋賀県は寿命も長く、寝たきりの方が多い。こうした方々にスポーツのアプローチをどのように仕掛けるかを含めると先駆的で面白い計画となる。

整備計画が長期にわたるため、シンボルツリーなどは先に植栽し、完成する頃には定着するよう早めの処理を検討してみてもどうか。

維持管理について指定管理者制度で効率的に実施すべき。また、市民とともに花を植えたり、芝の手入れを行うなど、市民と一緒に公園のメンテナンスをしていくことも計画に盛り込んでどうか。

公園のファンクラブを作り、いろいろと実施することをイベント化し、市民に愛着を持ってもらう仕組みを作ると管理はうまくいくのではないか。

彦根城内では樹木整備計画が作られているので、整合を図る必要がある。

国体主会場との連絡橋は長期の整備が計画されているが、この間既存の橋は使えるのか？

新たな橋が整備されるまでは既存の橋を利用する。

各委員からの意見を踏まえ、今回提示した基本計画素案(案)を修正し、次回検討委員会で審議する予定です。